



P+ARCHIVE レクチャー & ワークショップ 2012

リアル ART プロジェクト・アーカイビング 実践

CASE STUDY 日比野克彦「種は船プロジェクト」

種は船



THE SEED IS A SHIP

「種は船 in 豊島」2010、2011年の様子より

募集 参加者

期 間	平成24年5月末 ~ 平成25年3月 (詳細予定裏面参照)
会 場	3331Arts Chiyoda 東京文化発信プロジェクトROOM 302 (東京都千代田区外神田6丁目11-14)
定 員	20名程度
対 象	アート・アーカイブに関心のある方、アート・プロジェクトのスタッフ、 学生など、ベーシックと実践の両コースに参加できる方
参 加 料	5,000円 (資料代込み)
応 募 締 切	5月18日(金) まで 選考: 5月20日(予定)
応 募 方 法	P+ARCHIVEのホームページの応募フォームからお申込みください。 http://www.art-society.com/parchive/ws2012
主 催	東京都 東京文化発信プロジェクト室 (公益財団法人東京都歴史文化財団) 特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター
協 力	HIBINO SPECIAL、一般社団法人 torindo、NPO 法人 recip
お 問 い 合 わ せ	特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター Mail: info@art-society.com / URL: http://www.art-society.com/

P+ARCHIVEは、地域・社会と関わるアート活動のアーカイブを構築・公開すると同時に、アート・アーカイブに関わる人材を育成することを目指しています。2012年度の人材育成レクチャー&ワークショップではアーティスト日比野克彦による「種は船プロジェクト」をケースとして、現在進行形のプロジェクトのアーカイビングに取り組みます。そこでは、アーカイブズの基礎を学ぶとともに、ワークショップを通じて「種は船

プロジェクト」の資料を実際に手にとって整理やリスト化、さらには公開までの作業を習得していきます。これらを通じて、アーカイビングの一連のワーキングを経験することが可能となります。そして最終的には、記録・保存を効率的に行うアーカイビングのフレームやマネジメント方法を参加者で共有することを目指しています。

	日時	タイトル	講師
ベーシック コース	1 5/30 <small>水</small> 19:00 - 21:00	キックオフミーティング・日比野克彦レクチャー + ガイダンス(プロジェクトの運営概要について A&S より説明)	日比野克彦 アーティスト
	2 6/6 <small>水</small> 19:00 - 21:00	「アーカイブするということ」	筒井弥生 アート・ドキュメンテーション学会会員
	3 6/13 <small>水</small> 19:00 - 21:00	「プロジェクト進捗管理とレコード・マネジメント」	齋藤柳子 レコード・マネジメント コンサルタント 学習院大学大学院人文科学研究科 アーカイブズ学専攻博士後期課程
	4 6/27 <small>水</small> 19:00 - 21:00	「文書のライフサイクルと管理」	柴田葵 桜美林大学非常勤講師
	5 7/11 <small>水</small> 19:00 - 21:00	「アーカイブズを公開するにあたって：法の観点から」	松永しのぶ 国立国会図書館総務部
	6 7月下旬予定	プロジェクトの見学会 & アーカイブ見学会 ※実費負担 「種は船プロジェクト」 in 新潟 (水と土の芸術祭 (7/14~) または大地の芸術祭 (7/29~) の開催に合わせて調整予定) 「CIAN」(カワマタ・アーカイブ+大地の芸術祭アーカイブ)	
8月下旬スタート 実践コース	7 8月下旬予定	オリエンテーション「日比野プロジェクトとその記録について」	
	8 随時	連続ワークショップ (2週間に一回程度参加者の都合で決定)	
	9 随時	デジタルアーカイブづくりの準備	
	10 2月予定	アーカイブ資料の展覧会企画制作	

※所定の課程を修了した参加者には修了書をお渡します。

種は船

種は船プロジェクト in 舞鶴

2010年、日比野克彦監修により舞鶴において地域でつくるプロジェクト『種は船in舞鶴』(主催：一般社団法人 torindo ほか)。2011年、本格的な自走する船の制作。2012年5月、船の出航を目指す。出航後は、日本海側の港に寄りながら北上し、各地の地域文化を伝えながら、土地の物語を「種は船」が運ぶ。7月、新潟の「水と土の芸術祭」と8月、「大地の芸術祭」を訪れる。

東京アートポイント計画

東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを目指し、「東京文化発信プロジェクト」の一環として東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開している事業です。http://www.bh-project.jp/artpoint

特定非営利活動法人アート & ソサイエティ 研究センター

都市や地域における芸術文化活動並びにパブリックアートの情報発信及び調査研究・実施活動に関する事業を行い、都市や地域の文化的発展と市民の文化環境の向上に寄与することを目的として活動する非営利芸術団体。
http://www.art-society.com



P+ARCHIVE

「地域・社会に関わるアート」に関心のある市民や学生、研究者が情報収集をおこなうことができるアート・アーカイブを構築・公開するとともに、アート・プロジェクトを記録、アーカイブ化する人材を育成することで、「地域・社会に関わるアート」のプラットフォームを創出することを目的とした活動である。本プロジェクトは「東京アートポイント計画」の一環として実施している。
http://www.art-society.com/parchive/

日比野克彦 種は船プロジェクト アーカイビング実践 シラバス

	日時	タイトル	講師	内容
①	5/30(水)	キックオフミーティング 日比野克彦氏レクチャー (+ガイダンス：プロジェクトの運営概要について A&Sより説明)	日比野克彦 アーティスト	<種は船プロジェクト>のプレゼンテーション
②	6/6(水)	「アーカイブすること」	筒井弥生 アート・ドキュメンテーション学会会員	アーカイブって何？ その意味と意義を歴史的背景をふまえながら、考えてみよう。 1) アート・アーカイブの例 2) 長期的記録保存の際に留意したいこと 3) P+Archiveの「アーカイブに関するリンク集」の利用法 * 「アーカイブに関するリンク集」のURL：http://parcarchive.xsrv.jp/drupal/link_archive
③	6/13(水)	「プロジェクト進捗管理とレコード・マネジメント」	齋藤柳子 レコード・マネジメント コンサルタント 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻博士後期課程	プロジェクト終了時に資料や文書の山から解放されるには？ 各段階で発生する「記録を管理する方法」を事前に決めておくことです。その手法は「レコード・マネジメント」といいます。 全員が共通の考え方を身につけることで、効率的なプロジェクト運営も図ることが出来ます。 1) プロジェクトの各ステップの明確化と進行管理 2) ステップごとの発生文書・記録名の把握 3) 分冊基準またはPC上のフォルダー作成基準と階層化 4) 作成記録に必要な項目の洗い出しとファイル名の付け方
④	6/27(水)	「文書のライフサイクルと管理」	柴田葵 桜美林大学非常勤講師	どんな貴重な資料であっても、生まれた時はまだ「アーカイブズ」ではない。 時の流れの中で長期に渡って残されたものが、アーカイブズになるのだ。 文書の一生＝ライフサイクルを理解し、今・ここにある資料を適切に管理する方法を実践しよう。 1) 文書のライフサイクル論 2) ファイリングの諸形態、分類の方法 3) 目録の作成
⑤	7/11(水)	「アーカイブズを公開するにあたって：法の観点から」	松永しのぶ 国立国会図書館総務部	アーカイブにはさまざまな法律が関係している。 ここではどのような法がアーカイブズに関わるのか、 どのように対応すべきか、また今後どうなっていくべきかを確認し、 今回のプロジェクトにあてはめて考えてみよう。 1) アーカイブズに関わる法にはなにがあるか？ 2) 「種は船プロジェクト」にあてはめると…？ 3) 共有するためにはどうすべきか？